

2023年10月3日  
商工中金

## アップサイクル商品の開発により、フードロスの削減に取り組む 株式会社栗山米菓様をポジティブ・インパクト・ファイナンスにてサポート

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

商工中金（新潟支店）は、株式会社栗山米菓様（本社：新潟県新潟市、代表者：栗山 敏昭様）に対し、サステナブル経営に必要な資金10億円を融資しました。本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、せんべいやあられなどの製造を手掛け、「ばかうけ」、「星たべよ」といった主力商品を中心に全国へ販売しています。フードロス削減に積極的に取り組んでおり、包装資材の改良などによる商品の賞味期限延長のほか、「おから」や「さつまいもの皮」を原料としたアップサイクル（※）商品を開発しました。

（※）本来捨てられるはずのものに付加価値を加え、より価値の高いものに生まれ変わらせること。

今回同社は、安全・安心な米菓の安定供給やダイバーシティ推進等の取組みを通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関するKPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社KPI詳細は、商工中金HP掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

### 【株式会社栗山米菓様の概要】

所在地	新潟県新潟市北区新崎 2661 番地
代表者	栗山 敏昭 様
業種	米菓製造業
資本金	8,677 万円
従業員数	705 名（2023 年 7 月時点）
設立	1949 年 2 月



【新潟本社】

# NEWS RELEASE

## SHOKO CHUKIN BANK



### (※)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして(株)日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

